

ひらの あやこ
平野 亜也子外国語学部 准教授
学術博士 / 神戸大学ホームページ URL
なし

主な研究業績

- Hirano A. (2020). Japanese EFL learners' meaning - syntax mapping mechanisms for English sentence comprehension : Evidence from a Psycholinguistic Investigation.
- 丸橋良雄 (編). (2018). 『比較文化の語らい』 Effects of a Japanese-English Oral Translation Task Before Dictogloss on the Quality of the Reconstructed Texts: Partial Data from Hirano (2014). 62-75.
- Hirano A・Yokokawa H. (2017). How Animacy Information Affects Syntactic and Semantic Structure Construction in L2 Sentence Comprehension: Psycholinguistic Experiments on Relative Clauses and Passives. Language Education & Technology, Vol. 54, 83-112.
- 橋本健一、その他. (2017). 文構造親密度が日本人英語学習者の文理解処理に与える影響 - 相対的文構造親密度に関する一考察. 『電子情報通信学会技術研究報告』 Vol.117, No.341, 43-48.
- 平野亜也子・横川博一. (2017). 繰り返し接触が日本人英語学習者の関係節文理解に及ぼす影響 - 処理促進効果及びその持続性の検証. 『電子情報通信学会技術研究報告』 Vol.117, No.341, 49-54
- 横川博一、その他. (2017). Building a Database of Sentence Construction Familiarity of Japanese EFL Learners: Pilot Study. 『電子情報通信学会技術研究報告』 Vol.117, No.149, 57-62.
- 丸橋良雄 (編). (2017). 『比較文化論叢 - 異文化の懸け橋 -』 Effects of a Writing Task on Japanese EFL learners' Object Relative Clause Comprehension: Evidence from an Experimenter-Paced Reading Experiment. 13-24.
- 平野亜也子・横川博一. (2016). 第二言語文理解において名詞の有生性情報が統語 - 意味構造の構築に及ぼす影響 - 関係節文・受動文を用いた行動実験による検討 - 『電子情報通信学会技術研究報告』 Vol. 116, No. 242, 41-46.
- 平野亜也子・横川博一. (2015). 日本人英語学習者の目的格関係節文理解における名詞の有生性情報利用 - 音声提示および文字提示による検討 - 『電子情報通信学会技術研究報告』 Vol. 115, No. 361, 23-28.

キーワード

心理言語学、英語教育学、英文理解

研究テーマ Research theme

日本人英語学習者の英文理解における意味と統語とのマッピング処理

概要 Overview

【日本人英語学習者の英文理解メカニズムの解明】

正確な文理解を行うには、統語、意味、形態統語、文脈などの言語情報を利用して統語構造を構築したうえで統語と意味とのマッピングを行う必要があります。しかし、母語とは異なり、第二言語での言語理解には必ずしも成功しません。また、文理解の成功には、入力される情報を高速かつ正確に処理する必要があり、どのようにリアルタイムで文理解が行われているかを観察する必要があります。しかし、日本人英語学習者を対象とした統語構造と意味構造の構築プロセスにおいては、これまで十分に検証されてきませんでした。そこで、日本人英語学習者が必ずしも英文理解に成功しない要因を解明するために、音声（リスニング）と文字（リーディング）とで理解が異なるのか、熟達度によって統語と意味のマッピング処理がどう異なるのか、心理言語学実験を行い調査してきました。その結果、統語処理の非自動化が要因となって日本人英語学習者は必ずしも英文理解に成功しないこと、熟達度が上がるにつれて文理解に必要な統語と意味とのマッピング処理が促進されることおよび音声（リスニング）・文字（リーディング）の影響が減少することがわかりました。

【日本人英語学習者の英文理解における統語と意味とのマッピングを促進する学習】

英文理解を促進する手立てとして経験学習の効果を検証しています。具体的には、参加者を関係節文に接触する学習群と関係節文以外の統語構造に接触する統制群とに分け、接触前、接触直後、接触一日後に、自己ペース読みの手法を用いて中央埋め込みの主格/目的格関係節文を文字提示しました。そして、学習群と統制群との接触前、接触直後、接触一日後の関係節文理解における読み時間および内容確認問題に対する正答率を比較した結果、学習群の直後成績では、有意に読み時間が速く正答率も高くなり、一日後の成績では読み時間がさらに速くなっていました。今後は、音声提示された文構造への繰り返し接触した場合の学習効果についても実験を進め、効果的な学習法の提案につなげていくことを目指しています。

応用分野 Application areas

英語教育、英語学習への応用。英語教材の開発。
セミナーの講師、講演など

共同研究等へのニーズ Need for joint research

共同研究を望みます。
日本人英語学習者の言語処理を研究対象としている研究機関や組織との連携
英語学習者同士の英語のやりとりが、どの程度英語運用能力の育成に効果があるかを検証する団体や組織との連携